

雫石町教育振興運動推進協議会

- 「
テ
ー
マ
」
- 震災を超えて・新たな教育課題への取組
組織の見直し・地域コミュニティ再生の取組
 - PDCAサイクルによる推進の取組
年間を通じた全県共通課題・モデルプログラムの取組
 - 地域ぐるみによる「いわての復興教育」の取組
防災教育・被災地支援交流・地域を担う人材育成の取組

活動の
写真



『 読書大好き雫石っ子の推進 』

～テレビ視聴時間削減の取組～

1 地域の教育課題

「あいさつ運動の推進」
「家庭・地域での読書の推進」

＜課題の裏付けデータ＞
平日は1日のテレビ視聴時間を2時間以内とする。

2 役割分担と年間の計画

- 課題解決のためのそれぞれの役割
- ＜子ども＞
 - ・家へ帰ったら、まず勉強
(テレビ視聴やゲーム時間の削減)
 - ＜保護者＞
 - ・子どもの勉強の邪魔にならないように、テレビ視聴時間を減らす。
 - ・子どもとの対話時間を作る。
 - ＜先生＞
 - ・5者の話し合いの場を設ける。

＜地 域＞

- ・地域行事の開催、参加

＜行 政＞

- ・教振推進会議等への出席や、講習会の開催

- 課題解決のための年間の取組
- ・各実践区ごとに推進委員会を開催
 - ・親子読書のつどい開催
 - ・教育振興運動実践交流会開催

3 取組の様子

- ・各実践区ごとに推進委員会開催
(10実践区)
- ・子育て講演会の開催
(4地区、保育・食育・弊害・成長)
- ・各地区での世代間交流会等実施
- ・親子読書のつどい
(読み聞かせ、講習会、レクリエーション)
- ・教育振興運動実践交流会
(講演会、実践発表、実践報告(3校))

4 課題解決を判断する評価の方法

- ・地域・学校からの情報
- ・実践報告等
- ・学力向上が見られたか？